

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成24年3月末現在では、佐倉市の総人口176,072人に対し志津地区の人口が75,153人となっており、その割合は42.7%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

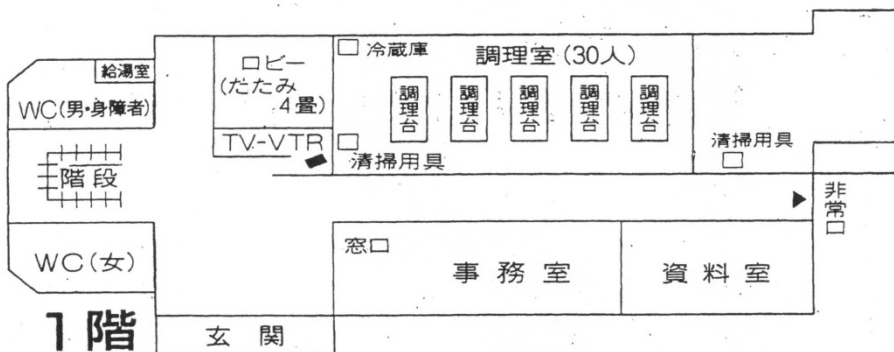
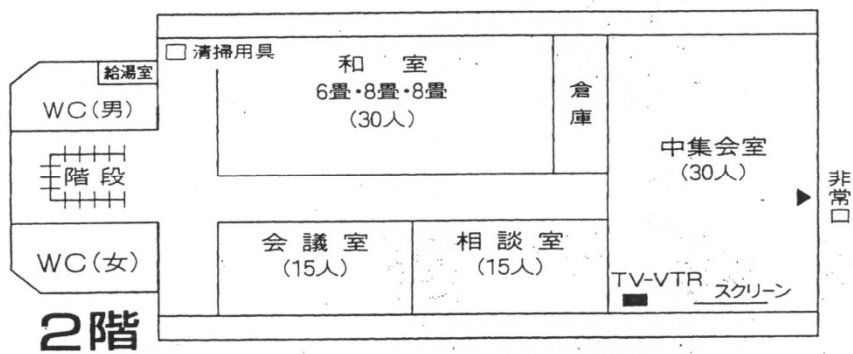
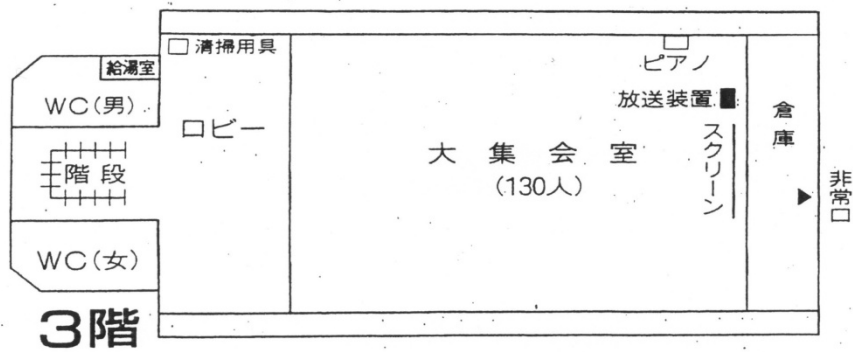
志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩3分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティーセンター」「志津図書館・分館」「ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用件数 (件)	4,313	4,661	4,447	4,281	4,246
利用人数 (人)	57,596	62,313	57,961	54,865	57,344
開館日数 (日)	334	333	333	333	333



事業の部

領域	事業名	内 容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	お母さんと遊ぼう	親子のふれあいを考え、親子遊びの中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるための親の態度を学んだ。	2歳児と母親 30組	5月～12月 全17回
	笑顔で子育て講座	子育て中の保護者を対象に、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、食の分野から提案した。	小学生と保護者 8組	2月5日 1回
青少年教育	佐倉っ子塾 子どもクッキング教室	佐倉の地域素材をおりまぜながら、体験学習等を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育み、交流の場と仲間づくりの機会を提供した。	小学生高学年 12人～20人	5月～11月 全4回
	佐倉っ子塾 子ども手作り工房		小学生低・全学年 7人～23人	5月～12月 全4回
	佐倉っ子塾 子ども理科実験教室		小学生低・高学年 15人～38人	6月～12月 全4回
	佐倉っ子塾 子ども自然教室		小学生低・高学年 11人～47人	6月～10月 全4回
成人教育	佐倉学入門講座 佐倉道を歩く (佐倉・城下町400年記念事業)	記念事業として、城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道について史跡などから学び郷土愛を育てた。	成人 40人	10月～11月 2コース 各5回
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ	郷土の歴史・自然・文化にふれ、わがまち佐倉を知り、地域への親しみと愛着を育むとともに、講座を通して地域人材の育成と地域団体との連携を深め、地域の教育活動の促進を図った。	成人 27人	2月 全4回
	しづ市民大学 しづ学入門	郷土の成り立ちについて学び、郷土愛を育み、より良い地域づくりを考えた。	成人 44人	6月～2月 22回
	しづ市民大学 リフレッシュ健康学	健康管理を対象として学習し、地域住民と連携し健康増進を図った。	成人 44人	6月～2月 19回

成人教育	しづ市民大学 おやじの食事学	料理の技術を学びながら、食の大切さを考え、仲間作りと地域の交流を図った。	成人 30人	6月～2月 19回
	しづ市民大学 くらしの情報学	日々のくらしに役立つ情報を学び、安全で快適かつ心豊かな生活を送ることを目指した。	成人 44人	6月～2月 19回
	しづ市民大学 研究科	志津地区における歴史や景観の変遷などを、テーマごとにグループに分かれ調査した。	市民大学修了生 7人	4月～2月 20回
団体育成	第38回 志津公民館祭	学習成果の発表や展示を通して、地域の交流の場作りや学習機会の提供を行った。	志津公民館 利用グループ 96団体	10月21日・ 22日・23日 の3日間
	グループ運営研修会	グループ活動の意義、運営の方法を学ぶことから、自主性を高め、地域活動を考える場とした。	志津公民館 利用グループ 79団体	5月16日 1回
	調理室利用者懇談会	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用グループ間の交流を図った。	志津公民館 調理グループ 22団体	6月20日 1回
	志津地区子ども会 育成会連絡協議会 (志子連)	各種事業への援助と育成を通じて、健全な発展を目指した。	志津地区の 安全会加入 子ども会 10団体	通 年
	志津ジュニア・リーダーズ・クラブ (志津JLC)	「志津JLC」の行う各種事業への支援を通じて、ジュニアリーダーの養成を図った。	活動団体	通 年
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津公民館事業の案内、意見・情報等を提供し、公民館活動への理解と認識を深めた。	志津地区新聞折込 並びに公共施設に 配架掲示	5月 10月 1月 全3回
図書	図書等の貸し出し	地域団体や公民館で作成したビデオや図書の貸し出し業務を行うとともに、佐倉市の情報発信に勤めた。	地域住民	通 年 貸出は14日以内

1. 家庭教育事業

お母さんと遊ぼう

- 開設趣旨 「育児」は親が子どもを一方向的に育てることと思われがちであるが、子どもの成長を見守りながら、親も子どもと共に成長することを理解する必要がある。
親子のふれあいや日常生活の中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるとともに、親同士の交流をはかり、楽しみながら「育児は育自」ということを母親が体験し、自身の生き方を考える。
- 対象・人数 2歳児と母親30組
- 期間・回数 平成23年5月27日～平成12月16日 17回
- 学習目的 1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに生かせるようにする。
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。
- 指導者 蓮 淳子（幼児教育研究家）他
- プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	指導者	参加者数
1	5月27日 (金)	開講式 見つめて、ふれあって	「みんなが主役」 出合いをはじめましょう ポッポちゃんのお窓を開け、ガ タガタバスに乗って	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	55人
2	6月3日 (金)	自然体験① さつまいもを植えよう	さつまいも畑に行こう！ 自分達でさつまいもの苗を 植えよう	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ	54人
3	6月17日 (金)	リズム遊びと 七夕飾り	リズムで遊びましょう 親子体操でキャキャの笑顔 いっぱい	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	55人
4	7月1日 (金)	遠足① 仲良くなろう	大型バスに乗って千葉動物 園へ遠足 小動物に触れ、みんな仲良し	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	50人
5	7月15日 (金)	作って遊ぼう	お母さんが作った星をのり で貼り七夕の飾りを作ります	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	52人
6	8月5日 (金)	夏はやっぱりそうめん	流しそうめんに挑戦しまし よう ボランティアの活躍の場面 がいっぱい	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	61人
7	9月2日 (金)	工夫して遊ぼう	お手玉や布を使って遊び グループで考えた遊びの発 表	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	42人

8	9月9日 (金)	個性を感じましょう	遊びを通して、子どもの個性を感じ調和することが大切	大和田イエ子 (幼児教育研究者)	46人
9	9月16日 (金)	野外で遊ぼう	上座公園に行っておもいきり体を動かしましょう	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	42人
10	9月30日 (金)	遠足② 秋を探そう	草ぶえの丘で、餅つきを体験 木の実、枯れ葉で遊びましょ う	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	50人
11	10月14日 (金)	自然体験② さつまいもを収穫しよう	さつまいも畑へ行こう！ 自分達で植えたさつまいも を収穫しよう	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	52人
12	10月28日 (金)	食事を考えよう	幼児期に必要な栄養を学び 献立やおやつを考えましょ う	食生活改善 推進員	46人
13	11月4日 (日)	こどもの手形づくり	親子で思い出に残る作品を 作ります 遠足で拾ったどんぐりもい かしてみましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	40人
14	11月11日 (金)	絵本を読みましょ	本を読み、楽しましょ	中島 浩子	24人
15	11月20日 (日)	お父さんと遊ぼう	お父さん、家族で協力して おもちゃを作らましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	48人
16	12月2日 (金)	運動あそび	リズム運動や親子体操を通 して子どもの発達と成長を 考えます	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	50人
17	12月16日 (金)	クリスマスお楽しみ 会 閉講式	グループ発表で思い出を作 らましょ 地域の中で育児を助け合 いましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究者)	50人

○ 講座を終えて

地域との関わりが希薄になっている現代社会において、2歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、2歳児の子育てに奮闘しているお母さん達の情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

5月の開講式から12月のクリスマスお楽しみ会までの7ヶ月間で、参加した子どもたちは大きく成長した。子ども同士で友達となり、仲良く遊んだり、遊びをまねしたり、上座総合公園でおもいきりかけっこをしたり、普段はしないことであっても、みんなでやるとできてしまうものである。また、子どもたちの体の成長の一助となるよう、家にいるとつい使ってしまう冷房も志津公民館では使わず、暑くても自然の風でしのいだ。冷房の利いた部屋で過ごすのではなく外に出ることで、体内にビタミンDができ、カルシウムも蓄積されるので、積極的な外遊びや散歩を推奨した。

また、お母さんたちも、同じ子育て中の母親同士として親しくなり、交流を深めることができ、講座の目的として挙げていた「地域の仲間づくり」については、達成することができたと捉えている。

来年は、卒業生に講座の手助けを依頼し、本講座によって生まれた仲間の繋がりや経験を生かしてもら

う予定である。また、子育ての場として地域そのものに目を向けてもらうと同時に子どもの健全な発育に役立つよう、地域を散策する日を設定したい。

笑顔で子育て応援講座

- 開設趣旨 子育て中の保護者とその子どもを対象に、子どもが健全に育つための、家庭のはたらきや、あり方、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・食・手工芸等の分野から提案する。
- 対象・人数 志津地区在住の小学生と保護者
- 期間・回数 平成24年2月5日 1回
- 学習目的 1. 大人と子どもが協力して作業することで、家族間の親睦を深める。
2. 家庭が果たす役割の重要性を、家族で学ぶ。
- 指導者 料理研究家 安部井 幸江
- プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	2月5日 (日)	家族にあげよう！ バレンタインデー のおかし	家族でバレンタインデーのお菓子を作ることで家族の親睦を深め、家庭での食の役割を再考する。	料理研究家 安部井 幸江	19人 (8組)

○講座を終えて

本講座は、親しい人に贈り物をする日であるバレンタインデーのお菓子を大人と子どもが協力して作り、参加していない家族に贈ることで家族の親睦を深めること、また手作りのおいしさや楽しさを実感し、家庭での「食」のあり方を見直してもらうことを、目的として実施した。料理の技術のみではなく、家庭での食生活についても講師による助言を行った。

参加者からは、「親子でいっしょに作業ができて良かった」、「勉強になった」などの感想をいただいた。参加者のうち7組から「大変達成されている」、残りの1組から「少し達成されている」という評価をいただき、事業の目的もある程度達成できたものと考えている。

なお、来年度以降は中学生・高校生や就学前の子ども、さらには祖父母も参加でき、より家庭教育の効果が高められるような講座を企画していく予定である。

2. 少年教育事業

佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

- 開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
- 対象・人数 志津地区在住の小学生（高学年） 人数は下記参照
- 期間・回数 平成23年5月22日～平成23年11月20日 4回
- 学習目的 1. 自分たちの手で料理を作り上げることによって、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。
- 指導者 おやじの食事学同好会

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	5月22日 (日)	手打ちうどんに挑戦	うどんを粉から作ることで、作る喜びを感じてもらう	おやじの食事学 同好会	13人
2	6月19日 (日)	夏野菜でおやつ作り	自分で収穫した野菜でおやつを作ることで、食の大切さを学んでもらう	おやじの食事学 同好会	20人
3	10月30日 (日)	カボチャグラタンでハロウィンを楽しもう	行事に関係する料理作りを通じて、行事そのものや食事への関心を高める。	おやじの食事学 同好会	14人
4	11月20日 (日)	さつまいもで作ろう！ スイートポテト&クレープ	一つの素材で異なる料理を作り、食材に関する知識と工夫することの楽しさを学んでもらう。	おやじの食事学 同好会	16人

○講座を終えて

子どもたちに料理の楽しさや食事の大切さを学んでもらうため、地域の大人の協力を得ながら全4回を実施した。「手打ちうどんに挑戦」では、うどんを麺も含めて一から作った。家庭では滅多に作れない料理を自分たちの手で作ることで、子どもたちは食事作りの楽しさと自分たちで作った料理のおいしさを体験することができた。

「夏野菜でおやつ作り」では、野菜を使った3種類のお菓子を作った。工夫することで意外な素材でもおいしい料理が作れることを体験したほか、材料の野菜の一部は公民館近所の畑で収穫させてもらい、地元の農家との交流も行うことができた。

「カボチャグラタンでハロウィンを楽しもう」では、坊ちゃんかぼちゃを丸ごと使ったグラタンを作った。電子レンジを使い「子どもでも固いかぼちゃを料理できる」ことなど、調理方法の工夫を学んだ。また、行事に対する理解を深めたほか、行事や季節を料理で楽しむことを体験した。

「さつまいもで作ろう！」では、さつまいもを使って2種類の菓子を作った。野菜をつかった菓子は6月にも作ったが、今回の方が味は好評だった。さつまいもが佐倉市でも多く生産されている身近な食材であることを知らなかった子どももおり、料理を通じて佐倉市で作られる食材に対する関心も高めることができた。

佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

○開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

○対象・人数 志津地区在住の小学生（全学年に募集） 人数は下記参照

○期間・回数 平成23年5月29日～12月11日 4回

○学習目的 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

○指導者 スケッチブック・佐倉っ子工芸クラブ（公民館サークル・同好会）・建具職人・佐倉子どもかるた 子都手留会

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
---	--------	-----------	---------	-------	------

1	5月29日 (日)	切り絵に挑戦!	初めての Cutter を使用し、 絵を描く楽しさを学びます	スケッチブック	23人
2	7月10日 (日)	走るペットボトルの車	身近にあるペットボトルのリ サイクルを利用して動く自動 車を作り遊ぶ	佐倉っ子 工芸クラブ	7人
3	11月13日 (日)	コースターは、おしゃ れな組子細工で	日本伝統工芸の職人さんの 技「組子細工」を学ぶ	建具職人	17人
4	12月11日 (日)	佐倉こどもかるたで あそぼ	昔ながらの手作りのかるたで 佐倉の魅力を学ぶ	佐倉こどもかるた 子都手留会	13人

○講座を終えて

子どもたちに地域の身近な地域の人たちとふれあいを通して、手工芸に触れることや作るの過程の中で手づくりの良さや味わいとその魅力を知り、作る楽しさを体験した。

子どもたちの感想は、「切絵は、どんなものか興味があったので、参加した。とても難しかったが友達ができ、楽しかった」、「走るペットボトルの車は、作るどころとデザインするときに楽しかった。車を走らせ、遊んで楽しかった」、「組子は、すごくきれいにできて、作りやすかった」、「組子を組むことは、難しかったが上手にできたので良かった」、「佐倉こどもかるたは、佐倉市のことがいろいろわかって良かった」、「むずかしい言葉などが知ることができ、勉強になりました」などたくさんの意見をいただいた。

次年度は、対象を小学生の全学年とし、学年を超えた交流や学校と超えての地域交流を推進していきたい。

佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

○開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。

○対象・人数 志津地区在住の小学生 低学年 人数は下記参照

○期間・回数 平成23年6月5日～平成23年12月4日 4回

○学習目的 1. 身近な素材を活かし、子ども達に「不思議な世界」への挑戦を体験してもらう。
2. 科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。

○指導者 自然科学の会・自然科学18同好会（公民館サークル・同好会）

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月5日 (日)	空気砲で遊ぼう	空気砲・空き缶つぶし・風船糸電話などにより空気のふしぎを体験。	自然科学18同好会	17人
2	6月26日 (日)	水の万華鏡でふしぎ体験	光のふしぎ（屈折・色・エネルギーなど）を学び、万華鏡を作ってふしぎを体験。	自然科学の会	40人

3	11月6日 (日)	電気自動車で遊ぼう	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせて遊び体験。	自然科学の会	31人
4	12月4日 (日)	空気砲で遊ぼう パートⅡ	空気砲・空き缶つぶし・風船糸電話・吹き矢により空気のふしぎを体験。	自然科学18同好会	24人

○講座を終えて

「空気砲で遊ぼう」では、煙の輪の動きで空気の流れ・気圧の力で缶をつぶし・風船の膜をスピーカーにして音の伝わり・などを学んだ。「水の万華鏡でふしぎ体験」では、応募者が定員を大きく超えたが全員参加として実施し、子どもたちの歓声が教室に響き渡り活気あふれる学習時間となった。「電気自動車で遊ぼう」では、くだものを使って発電して不思議を体験し、模型自動車を製作し電気のメカニズムを学んだ。この講座は『佐倉っ子塾』講座の一つとして、今年度は小学生（低学年）を対象に理科系の体験学習の場を提供した。ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で友だちを増やすことができた。

なお、実験教室の指導に協力していただいた「自然科学の会」と「自然科学18同好会」の皆様による万全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい体験となり、大変充実した講座が展開された。今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験・工作教室などを継続的に展開して開設趣旨の実現を目指したい。

佐倉っ子塾 「自然環境教室」

- 開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。
- 対象・人数 志津地区在住の小学生（低学年・高学年別に募集）人数は下記参照
- 期間・回数 平成23年6月12日～平成23年10月16日 4回
- 学習目的
 1. 地域の自然とふれあいうことで、子どもたちの自然への関心を高める。
 2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。
 3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
- 指導者
 - ・浅野俊雄（日本野鳥の会）
 - ・鈴木壽重（しづのまち歩こう会）
 - ・出山 玲子（出山果樹園）
 - ・金田與一（染井野星の会）

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月12日 (日)	里山自然観察	里山に生息する昆虫や、草花の観察を体験。	浅野俊雄 (日本野鳥の会)	11人
2	7月10日 (日)	自然遊び(屋外を散策)	林の中や畦道を散策し、自然の中での遊びを体験。	鈴木壽重 (しづのまち歩こう会)	27人
3	7月31日 (日)	ブルーベリージャム作りに挑戦	自然に囲まれた果樹園でブルーベリーを収穫し、ジャム作りを体験。	出山 玲子 (出山果樹園)	11人
4	10月16日 (日)	秋の星座を見よう 天体望遠鏡で月観察	天体望遠鏡での、星座観察を体験。	金田與一 (染井野星の会)	47人

○講座を終えて

「里山自然観察」では、身近なところにある里山に生息している昆虫、植物を観察した。子供達は、身近な所に多くの自然が残っていること、そしてその自然の中で遊ぶ、楽しさや素晴らしさを実感したのではないと思われる。「自然遊び（屋外を散策）」では、志津地区の林の中や畦道を散策した。普段歩くことの無い自然の中を散策することで、外で遊ぶことの楽しさを体験できた。また、地域の大人達と、一緒に歩くことで地域の大人達との新たな交流がうまれた。「ブルーベリージャムを作ろう」は果樹園を会場に実施した。大自然に囲まれた果樹園で、自分達で収穫したブルーベリーをつかってジャムを作った。「秋の星座を見よう 天体望遠鏡で月観察」は、天体望遠鏡で月、木星等を観察した。望遠鏡での天体を観察は、自然科学に対して、子供達に新たな興味と関心を高めることができた。

4講座とも、屋外での自然を対象にした、講座であるため、ご指導していただいた先生には入念な事前準備をしていただいている。また、当日は子供達が安全に楽しく受講できるように、細心の注意をはらい講座を運営していただいている。

今後も志津地区にある自然を紹介するとともに、自然を舞台に魅力のある内容を企画し、自然体験の素晴らしさを継続的に提供していきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第22期）

○開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図ることも含む。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の二つとし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

（1）自主的な学習活動の促進

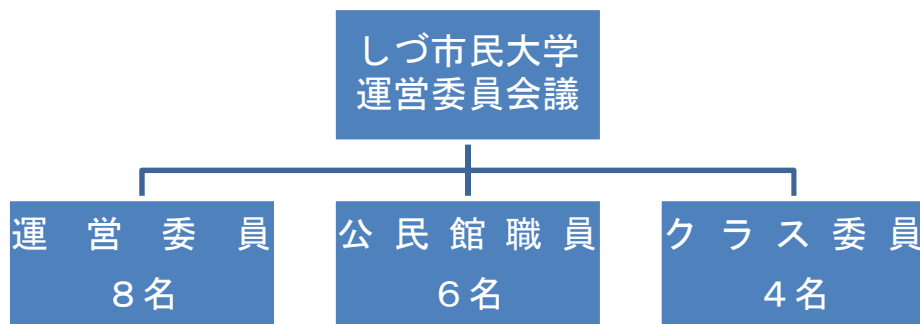
（個人的な参加型の学習から地域への展開）

（2）生涯学習を進めるまちづくり

（地域社会の活性化）

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【 しづ市民大学運営関係図 】



【 開設講座 】

◎ 一般コース（専科 4コース）

1. **しづ学入門（定員40人）** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
2. **リフレッシュ健康学（定員40人）** 地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取り組むことにより本来人間が持っている治癒力を取り戻し、体の中から改善する健康づくりを地域全体で考える。
3. **おやじの食事学（定員30人）** 男性を対象とし、料理の楽しさを体験するとともに、家庭で実践でき家族に喜ばれる食事作りについて学ぶ。また、おやじの食事学修了生をはじめ地域の方々の協力を得ながら、食を通じて地域の交流を深める。
4. **くらしの情報学（定員40人）** 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。

◎ 研 究 科

一人ひとりの生きがいの発見、地域の仲間づくりを通して、住み良いまちづくりを具体的に実践していくために、しづ市民大学の修了生を対象として研究科を開設する。

ゼミナール方式により学習を進め、参加者が自ら学習課題を見つけて、その課題について調査研究及び議論を行い、その成果を記録する。

【 受講費用 】

無 料

ただし、教材費・材料費・入場料
保険料などの実費は自己負担とする。

【 連携・協力団体 】

おやじの食事学同好会

- ・食事学事業の指導及び助言
- ・地域行事における食事提供等

- 対象・人数
- | | | |
|-----------|------|-----|
| しづ学入門 | 成人 | 44人 |
| リフレッシュ健康学 | 成人 | 44人 |
| おやじの食事学 | 成人男性 | 30人 |
| くらしの情報学 | 成人 | 44人 |
- 期間・回数 平成23年5月28日～平成24年2月25日
- プログラム 次頁の通り

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月28日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「佐倉を集める楽しさ」 【志津中学校 体育館】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
2	6月4日(土) 9:30~12:00	広報にみる佐倉の自然と歴史 【志津公民館 大集会室】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
3	6月18日(土) 9:30~12:00	小説「坂の上の雲」の時代と佐倉ゆかりの人々 【志津公民館 大集会室】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
4	7月2日(土) 9:30~12:00	佐倉連隊とその時代 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
5	7月16日(土) 9:30~14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	歴博セミナーの会 永見 一・戸井 和雄
6	7月30日(土) 9:30~12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館】	歴博セミナーの会 永見 一・戸井 和雄
7	8月6日(土) 9:30~15:00	クラス交流会 =レクリエーションなど= 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
8	8月27日(土) 13:30~15:30	合同講演会 「佐倉城下町の景観」 【国立歴史民俗博物館 講堂】	国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島 正士
9	9月3日(土) 9:30~12:00	志津の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
10	9月17日(土) 9:30~15:00	志津の歴史 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
11	10月1日(土) 9:30~12:00	志津の歴史散策 ①=史跡・古道など= 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
12	10月15日(土) 9:30~15:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 担当職員
13	10月16日(土) 9:30~15:00	第38回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
14	11月5日(土) 9:30~12:00	志津の歴史散策 ② =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
15	11月19日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 =湖沼の生態系= 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主席研究員 川津 浩二
16	12月3日(土) 9:30~12:00	野鳥ウォッチング 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
17	12月17日(土) 9:30~12:00	成田(門前町)を学ぶ=成田山新勝寺など= 【志津公民館 大集会室】	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之
18	1月14日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ = 井野の辻切りなど = 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男
19	1月28日(土) 9:30~12:00	「ユーカリが丘」の街づくり事業 【志津公民館 大集会室】	山万(株) 開発事業部 担当者
20	2月4日(土) 9:30~12:00	佐倉市の文化振興 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 担当職員
21	2月18日(土) 9:30~12:00	クラス発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
22	2月25日(土) 9:30~15:00	クラス別学習発表・閉講式 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「リフレッシュ健康学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月28日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「佐倉を集める楽しさ」 【志津中学校 体育館】		佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
2	6月11日(土) 9:30~12:00	森林浴を楽しもう 【志津公民館 大集会室】		自然体験活動家 本部 三枝子
3	6月25日(土) 9:30~12:00	軽スポーツを学ぼう①ーグラウンドゴルフー 【志津中学校 校庭】		元社会体育指導委員 六崎 美知代
4	7月9日(土) 9:30~12:00	タオルで健康体操 【志津公民館 大集会室】		健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
5	7月23日(土) 9:30~12:00	食事が大事！ー健康を食事・栄養から考えるー 【志津公民館 大集会室】		栄養士 小林 由喜子
6	7月30日(土) 9:30~12:00	バランスを考えた食事作りー実習編ー 【志津公民館 調理室】		栄養士 小林 由喜子
7	8月27日(土) 13:30~15:30	合同講演会 「佐倉城下町の景観」 【国立歴史民俗博物館 講堂】		国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島 正士
8	9月10日(土) 9:30~14:00	生活習慣病とウォーキング 【志津公民館 大集会室】		NPO 千葉県ウォーキング協会
9	9月24日(土) 9:30~12:00	太極拳ってなに？① 【志津公民館 大集会室】		日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
10	10月8日(土) 9:30~12:00	太極拳ってなに？② 【志津公民館 大集会室】		日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
11	10月22日(土) 9:30~14:00	第38回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
12	10月29日(土) 9:30~12:00	軽スポーツを学ぼう②ーユニカールー 【志津中学校 体育館】		元社会体育指導委員 六崎 美知代
13	11月12日(土) 9:30~12:00	素潜りの世界ー呼吸法でリラックスー 【志津公民館 大集会室】		フリーダイバー 平井 美守珠
14	11月26日(土) 9:30~12:00	ヨーガに挑戦 【志津公民館 大集会室】		ヨーガインストラクター 平井 美守珠
15	12月10日(土) 9:30~12:00	薬を知ろうー知らなきゃ損する薬の話ー 【志津公民館 大集会室】		佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
16	1月21日(土) 9:30~12:00	保険を学ぶ！ー健康・介護・生命保険を学ぶー 【志津公民館 大集会室】		佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
17	1月28日(土) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 中集会室】		クラス委員・運営委員
18	2月11日(土) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】		クラス委員・運営委員
19	2月25日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】		クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 おやじの食事学 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月28日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「佐倉を集める楽しさ」 【志津中学校 体育館】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
2	6月11日(土) 9:30~13:00	料理を始める前に… (講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月25日(土) 9:30~13:00	簡単! お手軽料理 (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
4	7月9日(土) 9:30~13:00	まずは和食の基本から (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
5	7月23日(土) 9:30~13:00	野菜を食べませんか? (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
6	8月06日(土) 9:30~13:00	夏の友! そうめんに合うおかず (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
7	8月27日(土) 13:30~15:30	合同講演会 「佐倉城下町の景観」 【国立歴史民俗博物館 講堂】	国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島 正士
8	9月10日(土) 9:30~13:00	先輩直伝! 手打ちうどん (実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会 奥平 英明
9	9月24日(土) 9:30~13:00	健康にも配慮して (講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
10	10月8日(土) 9:30~13:00	中華を楽しもう (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
11	10月22日(土) 9:30~15:00	第38回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	10月29日(土) 9:30~13:00	パン作りに挑戦! (実習) 【志津公民館 調理室】	料理研究家 安部井 幸江
13	11月12日(土) 9:30~13:00	パーティを開こう! (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
14	11月26日(土) 9:30~13:00	魚をおろそう (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
15	12月10日(土) 9:30~13:00	リクエストメニュー (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
16	1月14日(土) 9:30~12:00	発表に向けて (話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
17	1月28日(土) 9:30~13:00	メニューを考えよう (話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	2月11日(土) 9:30~13:00	腕前披露 (実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
19	2月25日(土) 9:30~15:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月28日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「佐倉を集める楽しさ」 【志津中学校 体育館】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
2	6月9日(木) 9:30~12:00	ニュースの読み方 【志津公民館 大集会室】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
3	6月23日(木) 8:30~17:00	情報化社会体験(バス見学会) 【NTT NOTE・法務省・最高裁判所】	クラス委員・運営委員
4	7月14日(木) 9:30~12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 環境保全課職員
5	7月28日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員
6	8月25日(木) 9:30~12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
7	8月27日(土) 13:30~15:30	合同講演会 「佐倉城下町の景観」 【国立歴史民俗博物館 講堂】	国立歴史民俗博物館名誉教授 濱島 正士
8	9月8日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館 大集会室】	株小川園代表取締役社長 小川 勝寛
9	9月22日(木) 9:30~12:00	ボランティアに参加しよう 【志津公民館 大集会室】	楡の会 服部 節子 中志津クラブ 林 正剛 人と自然をつなぐ仲間・佐倉神 伴之
10	10月13日(木) 8:00~17:00	話し合い学習(バス見学会) 【NHK 放送博物館・警視庁交通管制センター他】	クラス委員・運営委員
11	10月22日(土) 9:30~15:00	第38回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	10月27日(木) 9:30~12:00	介護予防ってなに? 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 高齢者福祉課職員
13	11月10日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう! 【志津公民館 大集会室】	志津南部地域 包括支援センター長
14	11月24日(木) 9:30~12:00	遺言と相続～備えあれば…!?～ 【志津公民館 大集会室】	千葉県金融広報 アドバイザー
15	12月8日(木) 9:30~12:00	交通・生活安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署交通課生活安全課職員 千葉県警察高速隊職員
16	1月12日(木) 9:30~12:00	災害に備えて 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 交通防災課職員
17	1月26日(木) 9:30~12:00	救急講習 【志津公民館 大集会室】	志津消防署職員
18	2月9日(木) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月25日(土) 9:30~15:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

◎ 研究科「第 8 期」

○開設趣旨

研究科は、しづ市民大学の修了者を対象として開設している。

自ら学習を進めるゼミナール方式により、参加者が自ら学習課題を見つけ、調査研究を重ねる中で議論し活動の成果を記録するとともに、地域社会に発信していくことを目指し実践していくものである。

今期の研究テーマは「成田道と周辺に残る名所旧跡・地名などの変遷」とし、成田道沿いに関する歴史等の調査研究を行い、当時の街道の様子や現在に遺された史跡の重要性を広く発信していくことを目指す。

○期 間 平成22年 4 月 から 平成24年 2 月まで 約 2 年間

研究活動は、原則月 2 回 第 1 ・ 第 3 土曜日の 9 時 3 0 分～ 1 2 時

○対象・人数「しづ市民大学」の修了生 7 名。

○研究科の活動状況（ 23 年 4 月～ 24 年 2 月 ）

23 年度の活動は、テーマを「志津の今昔」「臼井道標と明倫中学」「上座地区のすべて」と決定し、公民館での活動（20 回）及び各班ごとにテーマに沿った資料集め、実地調査を行った。（その後テーマが増えた。）

① 4 月～ 6 月 ・ テーマに沿った資料収集および実地調査

② 7 月～ 1 1 月 ・ 研究資料の作成

③ 1 2 月～ 2 月 ・ 研究紀要の作成及び発表資料の作成

各テーマの概要

「志津の今昔」

・ 幕末のころの志津地区、志津村の誕生、佐倉市の誕生、都市化の波、志津村の運輸交通事情、志津地区の小学校の変遷

「志津に現在も残る小字名」

・ 公園やその他施設に残る小字名とその由来について

「臼井道標と明倫中学」

・ 臼井に残る成田道標、佐倉藩と臼井、戦前まで臼井にあった私立の明倫中学

「上座地区ご紹介 ―上座地区のすべてと昭和 29 年 3 月頃の志津地区―」

・ 上座村について、上座地区の教育、佐倉市誕生のころの志津の街並み、京成電鉄志津駅と上座駅の誘致争い、上座地区の寺院、神社、石仏、上座地区散策コース

○講座を終えて

「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土の歴史や文化について学習することを柱として、自然環境や今後の街づくり等を学習テーマに加え、講話を中心に史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全 22 回(毎月 2 回)による学習日程を修学し、受講を重ねる中で郷土愛と多くの仲間の輪を向上することで、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。受講生からは、佐倉の郷土史を学び、土井利勝が佐倉城を築城してから 400 年という歴史の中で、明治維新から昭和に掛けて多くの先覚者と係わりのある土地柄である事を学び、改めて佐倉に暮らすことに誇りに思うことを実感し、講座に対しては有意義であったと評価をいただいた。

また、講座の修了後には同感する仲間を集め、サークル活動を開始することとなり「生涯学習と地域で暮らす仲間の輪」の起点となり、これからの活動に期待するものとなった。

次年度においては、より身近な地域の課題や生涯学習の視点に考慮したカリキュラムの再検討と、受講生の学習修了後における様々な生涯学習活動や地域づくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となった。

「リフレッシュ健康学」

今年度のリフレッシュ健康学は定員40名のところ65名近くの応募があり、近年の健康志向、健康への関心の高さがうかがえる。内容は、「実際に体験してもらう」をテーマに、講座終了後も継続して取り組めるもの、個人ではなく団体で取り組めるものを中心にプログラムを企画した。

夏以後、班内での交流が活発に行っていたが、全体の交流がなかなか進まなかった。

しかし、15回頃から、ホームルーム等で受講生を中心に発表会に向けて打合せが始まり、話し合い学習をすることによって、全体の交流を図る良い機会となった。

そして、閉講式終了後には、授業で取り上げた料理や体を動かすヨガ等のサークルができ、自主活動を始めた。

今後、地域の中での交流を更に深め、更にまちづくりへの学習をしていくことを期待する。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、しづ市民大学で唯一男性のみを対象としたコースである。今年度は、男性が料理の基本を学び、食事作りの楽しさを体験すること、学んだことを家庭で実践してもらうこと、そして受講生同士や講師と接することで地域住民の交流を深めること、の3点を目的とし、実施した。講座の企画・運営に際しては、公民館職員のほか、おやじの食事学担当の運営委員、講師、そしておやじの食事学の昨年度の卒業生の中から、世話人として5名の方のご協力をいただき、打ち合わせを行いながら進めていった。また、受講前と受講後でどのように変わったのか確認するため、独自に2回のアンケート調査を行った。

講座の成果としては、受講生の大部分から「おやじの食事学を受講して良かった」という感想をいただいたこと、家庭での料理の回数が受講後に増えた方が受講生の約7割を占めたこと、さらに卒業生有志による料理サークルが発足し仲間の繋がりが継続していくことを確認できたこと、を挙げることができる。しかし、家庭での料理回数について、受講前に立てた目標を達成した受講生は30人中2人しかいなかった。これを課題とし、来年度以降は、より家庭で学習内容を実践できるよう、プログラム等の見直しを行いたい。

「くらしの情報学」

本コースの開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え心豊かな生活を過ごすための知識を学ぶことにあり、初年度に実施した講座の内容から、社会の変化に合わせて毎年見直しを行っている。今年度はエコライフ、ボランティアから加齢に伴う認知症対策や高齢者の交通安全まで、日々の暮らしに役立つ情報をカリキュラムに取入れ開設した。

また、「情報化社会体験」としてNTTショールーム・法務省資料館・最高裁判所の見学、受講生がテーマを決める「話し合い学習」では、NHK放送博物館・警視庁交通管制センターの見学と、2回のバス見学会を実施し、受講生の交流も図ることができた。

介護、認知症、相続、福祉等の身近な分野へは特に高い関心がみられた。終了後のアンケートでは「身近な生活の中で役に立つ、新たな知識を得られた」「生涯学習への意欲が出てきた」「もっといろいろなことを学びたい」「学んだことを地域で活かしたい」等、積極的な学習意欲や、地域での様々な活動への参加意欲が高まっていることがうかがえた。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

- 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- 対象 志津地区の一般成人 25人
- 期間・回数 平成24年 2月 8日 ～ 2月29日 全4回
- 学習目的 ①井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。
②地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
- 指導者 市職員（文化課職員）・（財）印旛郡市文化財センター職員

○プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	2月 8日 (水)	基礎知識編	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子	26人
2	2月15日 (水)	遺跡の紹介	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化財センター 小倉 和重	24人
3	2月22日 (水)	遺跡の見学	遺跡探訪し 知識を深める	文化課職員 松田 富美子	23人
4	2月29日 (水)	今後のあり方 土器の拓本製作	遺跡の経緯と 今後について	文化課職員 松田 富美子	21人

○講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。受講生は、出土した土器などに眼を輝かせ、講師の話聞いて熱心にメモを取り、質問や意見を交換しあって活発な学習の場となった。また、受講後の感想において好評をいただき、学習目標について微力であるが一つの成果を上げることができた。

最後に、地域住民として受講生が「井野長割遺跡」の今後のあり方について考え・行動し、行政と協力しながら、後世にいかに引き継ぐべきかが課題となった。

佐倉学講座 「佐倉道を歩く」 =佐倉・城下町400年記念事業=

○開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とし、23年度も引き続き実施することとした。

○対象・人数 志津地区の一般成人

○期間・回数 平成23年10月24日～平成23年12月5日 10回

○学習目的 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。

○指導者 八千代市郷土歴史研究会会員（会長 村田 一男 氏）

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	火曜日コース 10月25日 金曜日コース 10月28日 9時30分～15時30分	午前 講義 「佐倉道のあらし」 午後 史跡散策 志津公民館～ 京成臼井駅	午前に、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び、午後に、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	村田 一男	18人 18人
2	火曜日コース 11月 8日 金曜日コース 11月 4日 9時30分～14時50分	「史跡散策」 江戸川駅～ 京成西船駅	佐倉道のうち、江戸川駅～京成西船駅までを歩く	菅野 貞男	16人 15人
3	火曜日コース 11月15日 金曜日コース 雨天中止 9時30分～16時	「史跡散策」 京成西船駅～ 習志野駅	佐倉道のうち、京成西船駅～習志野駅(新京成線)までを歩く。	滝口 昭二	15人 雨天中止
4	火曜日コース 11月22日 金曜日コース 11月18日 9時30分～15時30分	「史跡散策」 習志野駅 ～志津公民館	佐倉道のうち、習志野駅(新京成線)～志津公民館までを歩く。	牧野 光男	18人 12人
5	火曜日コース 11月29日 金曜日コース 11月25日 9時30分～14時	「史跡散策」 京成臼井駅～ 佐倉城大手門跡	佐倉道のうち、京成臼井駅～佐倉城大手門跡までを歩く。	畠山 隆	15人 18人

○講座を終えて

この講座は、佐倉市の佐倉・城下町400年記念事業の一つとして位置付け、22年度に引き続き、開設した。佐倉道の史跡散策を学習の柱とし1コースの定員を20人として、多くの方にご参加いただけるよう火曜日、金曜日の2コースを開講した。応募者は、定員を超える55人(火曜日31人、金曜日24人)となり、抽選の結果受講生40人(火曜日20人、金曜日20人)で実施した。

初回は、午前中に「佐倉道のあらし」として佐倉道の全体像等を講義いただき、昼食後、志津公民館から京成臼井駅までのコースを史跡散策した。残りの4回は、上記の表のとおり、現地集合、現地解散とし、史跡散策を行った。

今回の講座は、昨年に引き続き、八千代市郷土歴史研究会の会員5名にお願いしたが、簡潔にまとめた資料とわかりやすく丁寧な解説は、大変好評であった。

金曜日コースの3回目は、雨天のため予備日に延期したが、予備日も雨天となり残念ながら中止となった。その他については、多少終了時間が前後したものの予定どおり実施することができた。

また、一番懸念していた交通事故はなく、全日程を順調に楽しく学習することができた。

昨年は到達目的地である佐倉城大手門跡で、閉講式・修了証等の配布を行わなわず、参加者から「参加証がほしかった」「もっと交流が図れるようにして欲しかった」という声をいただいたので、今年度は、午前中に到着できるように計画し、火曜日コースについては、会食し、会食時に修了証の交付を行うことができた。しかし、金曜日コースについては、3回目が雨で予備日に回ったため、臼井から大手門跡のコースが最後とならず修了式ができなかったため、これを次年度の課題とし、見直していきたい。

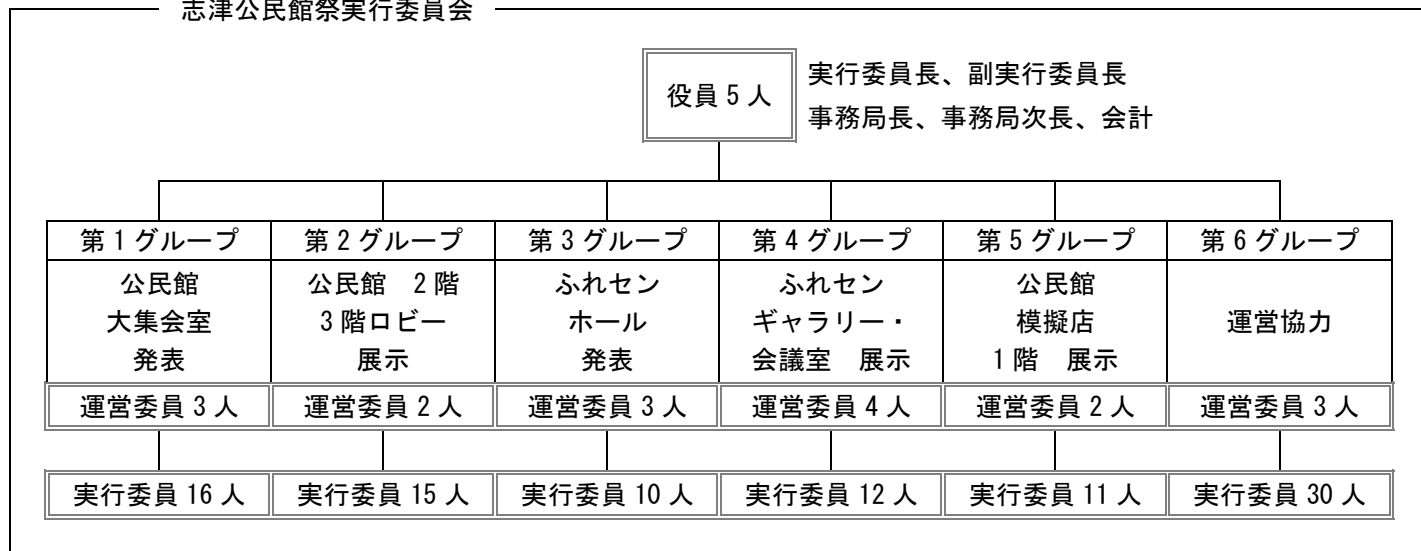
4. 団体育成事業

第38回 志津公民館祭

- 開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。
- 開催日時 10月21日(金)～23日(日)
10時～16時(最終日は10時～15時)
- 会場 (第一会場) 志津公民館 ・ (第二会場) 西志津ふれあいセンター
- 主催 志津公民館祭実行委員会

役員	氏名	団体名
実行委員長	柴田 由紀枝	志津JLC
副委員長	大畑 正壽	千葉土建佐倉支部志津東分会
事務局長	吉見 律子	スケッチブック
事務局次長	前島 薫代	フォトクラブ志津
会計	矢島 俊典	佐倉・中国語を楽しむ会

志津公民館祭実行委員会



- 参加 96 団体
- 来場者 2,530 人
- 実施経過 (別表)
- 公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することを目的として開催した。今年度で38回目となり、開館以来、毎年欠かさず実施している伝統ある事業で、団体の代表者から構成される実行委員会を組織し、手作りで運営している。

実行委員長の柴田さんは、「昨年3月11日の東日本大震災から6か月たった今、被災地では、復興に奮闘している姿を見ると、元気がでできます。私たちも、絆を深め一致団結して、文化の英知を集結し、志津の地域から発進していきます。どなたでも作品を見て、たくさんの体験コーナーで楽しめます。この機会に私たちのお仲間になりませんか。」と市民へ呼びかけた。

実行委員会議の中で、事務局長の吉見律子さんの東日本大震災義援金の呼びかけで、志津公民館受付義援金箱及び5団体から社会福祉協議会を通じ、69,998円をへ寄付し、広報「社協さくら」へ掲載された。また、子どもと大人の体験コーナーは、誰でも参加できる辻ぎり・竹トンボ・絵手紙・佐倉こどもかるた・餅つき・手作りうどん・手作り本箱・マジック・科学の不思議体験など子どもから大人まで体験でき、親子でチャレンジしている姿が見受けられた。特に開催日の土曜日には、「しづ市民大学」の受講生による『ウォークラリー大会』が開催され、約120人が西志津ふれあいセンターをスタートし、地域のコマ図をみながら地域を散策し、ゴールである志津公民館祭会場がにぎわった。

最後に、今年度の参加団体は、96団体となり、公民館利用者の高齢化に伴い、縮小傾向が懸念されている。その中で、学習の場を共有しながら活動しているサークルであり、他の団体と交流する機会が少なく、この公民館祭が、地域住民を含め、貴重な交流の場として、地域の活性化に寄与している。

今後も「志津公民館祭」の開催趣旨に基づき、生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ事業評価を重ねながら展開し、志津公民館と活動団体の協働により地域社会の活性化を目指し、継続的に実施することを願う。

【 別表 】 第38回志津公民館祭 実施経過

月・日	曜日	会議名など	検討事項など	開会時間・場所
6/1	水	アンケート回答締切		
6/12	日	第1回実行委員会	・第38回公民館祭の開催(確認) ・運営委員の選出	13:00 大集会室
6/12	日	第1回運営委員会	・4役選出	実行委員会終了後
7/1	金	参加申込み締切		
7/8	金	役員会議	・実施計画詳細案の検討	13:30資料室
7/10	日	第2回運営委員会	・実施計画詳細案の検討	14:00中集会室
8/7	日	第2回実行委員会	・実施計画詳細案の決定	14:00大集会室
9/1	木	役員会議	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	17:00 資料室
9/11	日	第3回運営委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	13:00 大集会室
9/11	日	第3回実行委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	14:30 大集会室
10/9、10		西志津ふれあいセンターとの打合せ(ホール使用)		
10/19	水	役員打合せ(13:00) 4グループ ふれあいセンターへパネルなど運搬(14:00) 中集会室利用サークル パネル移動(15:00) (会議室・相談室利用サークル・希望によりパネル移動可能) 調理室(本日から公民館祭準備のために使用)		
10/20	木	設営(9:30)・搬入(10:30)		
10/15	金	西志津ふれあいセンターホールでのリハーサル(希望サークル)		
10/15	金	第37回志津公民館祭(第1日)		

10/16	土	第37回志津公民館祭（第2日）		
10/17	日	第37回志津公民館祭（第3日）		
11/14	日	第4回実行委員会	・反省会（より良い公民館祭をめざして）	13:00大集会室
24年2/10		役員会議	・第39回公民館祭開催について	相談室

グループ運営研修会

○開催趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

○対象・人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者 79団体 92人

○開催期日 平成23年5月16日（月）午後1時30分～3時30分

○学習内容

- ① 公民館でのサークル活動とは
- ② 公民館の予約・使用での注意事項について
- ③ グループ活動の意見交換
- ④ 第38回志津公民館祭について
- ⑤ 火災を想定した避難訓練
- ⑥ その他 施設予約の手順について

○今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用者会議

○開催趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

○対象・人数 定期利用している料理グループ 参加者 22団体 38人

○開催期日 平成23年6月20日（月）午前10時～12時

○会議内容

- ・ 調理室の利用説明と要望・意見交換
- ・ 調理室の清掃（調理器具の点検）

○今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

*調理備品・器具の点検 *グループ備品の整理整頓 *生ゴミ・廃油等の処理の徹底

志津地区の子ども会育成活動

○概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

- 加入団体 単位子ども会 10 団体
- 活動内容 千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（3月）
千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダースクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動 単位子ども会への協力・行事支援
志津公民館祭参加（10月）
ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力（7月）
佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への参加・運営協力（10月）
志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11月）

5. 広報・展示事業

志津公民館だより

- ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の問題などについて、紙面を通して伝える。
- 発行回数 年 3 回（5月・10月・1月）
- 発行部数 毎号 25,000 部
- 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- 内 容

第220号 (平成23年5月1日)	第221号 (平成23年10月1日)	第222号 (平成24年1月15日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然教室 子ども理科実験教室 ●募集案内（共催事業） 自分史講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） 佐倉学講座「佐倉道を歩く」 しづ市民大学公開講座 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然教室 子ども理科実験教室 ●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 自分史講座 ●行事案内 第38回志津公民館祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 ●募集案内 活動サークル紹介 ●文部科学省「優良公民館」表彰 の受賞について ●志津公民館利用案内

- 今後に向けて

今年度は、例年どおり3回（5、10、1月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。

主催講座の案内では、「お母さんと遊ぼう」と「佐倉っ子塾」の記事について紙面の見直しを行い、情報が分かりやすく伝わるよう工夫した。

また、「公民館だより」の配布先についても見直しを行い、今年度は志津地区での新聞折込みや市内の各公民館、志津地区の公共施設へ配架したのほか、志津地区の子ども会へ送付し、より多くの方に見ていただけるよう、配慮した。

今後は、さらに紙面等を工夫して公民館の活動を地域住民へ発信し、「公民館だより」が志津公民館を利用するきっかけとなるよう、努力していきたい。

6. 図書事業

図書等の貸し出し

○内 容	図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。	
○蔵 書 数	300冊	
○実施期間	通年（公民館開館時間）	
○貸出方法	1人 5冊	
○貸出期間	2週間	
○年間貸出数	一般	14点
	児童	9点
	DVD	0点
	計	23点（内、視聴覚資料 0点）